

第110回(2023年度第4回) 産研テクノサロン

産研テクノサロンは、大阪大学 産業科学研究所と産業界との交流の場として、産研における研究成果を中心とした講演会と意見交換、懇親を図ることを目的として毎回多様なテーマで例会を開催しています。

キャリアパスの多様性:企業とアカデミアの協奏

日本では長らく大学と企業は別のキャリアとして考えられてきた。しかし昨今、企業から大学へ、大学から企業にキャリアチェンジする方が増えている。そこで今回のテクノサロンは、企業から大学に転身した方、そして大学から企業に移った方を集め、ざっくばらんにそれぞれの経歴や経験について語ってもらい、企業とアカデミアの実りある協奏の一助になる講演会を目指している。

[開催日]

2024年3月1日(金) 14:00~16:45 講演会参加費無料

※意見交換会参加費:3,000円(産研協会テクノサロン会員:無料)

[開催場所]

大阪大学産業科学研究所 管理棟1階 講堂(80名まで) + Zoom(90名まで)

[プログラム]

14:00-14:10 開会挨拶

大阪大学産業科学研究所 戦略室 小倉 基次(総合司会)

14:10-14:40 講演①

「普通の企業技術者だった私が産官学で働きながら学んだこと・活かしたこと」

東北大学 多元物質科学研究所/大阪大学 産業科学研究所 特任教授 井関 隆之

14:40-15:10 講演②

「新聞記者が研究所の広報に移ったら…」

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 広報室 室長 勝田 敏彦

15:10-15:40 休憩・講師との名刺交換会

15:40-16:10 講演③

「統計物理学者がものづくり企業のリサーチャーになった話」

トヨタ自動車株式会社デジタルソフト開発センター 主幹 谷澤 俊弘

16:10-16:40 講演④

「第一人者になるということ」

医療未来学研究所 所長 奥 真也

16:40-16:45 閉会挨拶

大阪大学産業科学研究所 戦略室 小倉 基次

17:00-18:30 意見交換会(吹田キャンパス内大学生協工学部食堂 ファミール)

※参加費:3,000円 / 産研協会テクノサロン会員:無料(企業会員様は1社2名様まで)

ハイブリッド開催
(阪大産研+ZOOM)



お申込みはこちらから!

申込フォーム(Google) <https://forms.gle/DiCtyyVSp8M8aKAt6>

Webサイト: https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/air/techno_salon/techno_salon.html

申し込み・問い合わせ 大阪大学 産業科学研究所 戦略室

(TEL/FAX:06-6879-8448/E-mail:air-office@sanken.osaka-u.ac.jp)

主催:大阪大学 産業科学研究所/一般財団法人大阪大学産業科学研究協会(阪大産研協会)/

人と知と物質で未来を創るクロスオーバーアライアンス:物質・デバイス領域共同研究拠点

共催:大阪大学 産業科学研究所 産業科学AIセンター

後援:一般社団法人 日本電気計測器工業会

第110回 (2023年度第4回) 産研テクノサロン 「キャリアパスの多様性:企業とアカデミアの協奏」



14:10-14:40 講演① 東北大多元研/大阪大学産研 特任教授 井関 隆之
普通の企業技術者だった私が産官学で働きながら学んだこと・活かしたこと

[講演概要] 大学卒業後、普通に企業に就職(産)した私がどういうわけか国の機関(官)、その後大学(学)で働く機会を得ることができました。その過程で学んだことを、私のお蔵入り技術の一部(MEMS技術, 木材成型加工技術)などを紹介しつつ、それらを活かして現在大学で取り組んでいる産官学連携に関する事,更にその先の構想として、大学の研究者だけでなく企業の技術者の活力を生かすための人材育成方法の一案について提案してみます。



14:40-15:10 講演② 高エネルギー加速器研究機構 広報室 室長 勝田 敏彦
新聞記者が研究所の広報に移ったら…

[講演概要]大学、大学院で物理学を主に学び、研究者を目指した時期もありましたが、子どものころから新聞も好きで朝日新聞社に就職。主に科学技術分野の取材・執筆をする記者を約30年やったあと、定年が視野に入り、茨城県つくば市にある国立研究所の広報に転職しました。コミュニケーションという意味では同じ仕事ですが、情報を受け取って料理する側から、情報を素材として発信する側に回ったことになります。立場を変えて感じるコミュニケーションの難しさとおもしろさについて語ります。



15:40-16:10 講演③ トヨタ自動車(株)デジタルソフト開発センター主幹 谷澤 俊弘
統計物理学者がものづくり企業のリサーチャーになった話

[講演概要]私は、量子トンネル効果の理論で学位を取り、その後統計物理学を専門とするようになった理論物理学者です。22年間高等専門学校教員として基礎研究と教育を行ってききましたが、自分でも思いもよらないことに3年前から自動車を製造・販売する企業でリサーチャーとして働いています。その中で、日々思いを巡らせている、理学分野での基礎研究とものづくり企業での開発の関係とは、理学系基礎研究者は企業で「役に立つ」のか、これからの産学連携研究とは、などの問題についての考えを共有させていただければと思います。



16:10-16:40 講演④ 医療未来学研究所 所長 奥 真也
第一人者になるということ

[講演概要]高校を卒業して大阪から東京に向かう新幹線に乗った1981年4月には数学者になる予定でした。現実には1988年に医師・放射線科医になって画像診断に明け暮れそして飽きた。がんをテーマのフランス留学、PETの定量研究を経てどんどん医者らしくない仕事に移行。調子に乗って医学部を離れ福島県で工学系教授を3年やったけど東日本大震災で続けられなくなり、長考一番外資系製薬で再出発。同じ医療なのに風景は全く異なりました。足掛け12年続けるうち、「医療」の全体像が見えてきて医療未来学者として未来を予測する執筆にハマリ、今度はそれが仕事になる。行き当たりばったり感満載でしょうか。転職ごとにくるさく反対した妻も、なま温かい目で見られるようになりました。キャリアにとって大事なこと。それはどんなに狭くても第一人者になることだと信じています。周囲を見渡し、まだ一番でなければ更に領域を狭めたり、鞍替えしたりすればいい。そういうお話をしたいと思います。

「参加申込書」第110回(2023年度第4回)産研テクノサロン 2024年3月1日(金) 締切:2024年2月22日

ふりがな 参加者氏名	TEL		
	FAX		
会社・団体名	希望参加方式	いずれかに○をお付けください 会場での聴講 Webでの聴講	
ご所属・役職等	E-mail		
産研テクノサロン	会員 非会員	意見交換会	参加 不参加

* ご記入いただいた情報は、各種連絡・情報提供のために利用することをはじめ、講師には参加者名簿として開示することがあります。